クラック注入材

MDシール

MD SEAL

特殊アスファルト乳剤からなる主剤と硬化剤を混合することにより硬化する、クラック注入材です。
浸透性に優れるため、微細なひび割れにも効果的です。

前田道路株式会社

本　　店	〒141-8665 東京都品川区大崎 1-11-3	TEL:03-5487-0011(代)
技術研究所	〒300-4111 茨城県土浦市大畑 208	TEL:029-833-4311
北海道支店	〒060-0042 札幌市中央区大通り西 10-4-16 ダンロップＳＫビル	TEL:011-777-5555
東北支店	〒980-0801 仙台市青葉区木町通 1-4-3	TEL:022-265-1151
北関東支店	〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町 1-11-2 勝俣ビル	TEL:048-643-3641
東京支店	〒108-8643 東京都港区白金台 5-22-12 前田道路白金ビル	TEL:03-3448-2231
西関東支店	〒231-0032 横浜市中区不老町 3-12-5 下山関内ビル	TEL:045-662-4121
中部支店	〒460-0008 名古屋市中区栄 5-25-25 ＭＫＤ名古屋ビル	TEL:052-262-1320
関西支店	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-5-30 ＭＫＤ10 大阪ビル	TEL:06-6253-7501
中国支店	〒730-0045 広島市中区鶴見町 4-22 ＭＫＤ１ビル	TEL:082-246-4422
九州支店	〒812-0007 福岡市博多区東比恵 4-2-10 東比恵ビジネスセンターⅢ	TEL:092-411-9421
北陸支店	〒950-0916 新潟市中央区米山 3-2-11 新潟米山ＭＫＤ５ビル	TEL:025-241-0460
四国支店	〒760-0050 香川県高松市亀井町 7-15 セントラル第１ビル	TEL:087-862-1780

■お問合わせ

2006_O

CREATIVE MIND ―― こころをカタチに
MAEDA ROAD

浸透性や接着性に優れた舗装のクラック注入材です

製品概要

特殊アスファルト乳剤からなる主剤と硬化剤を混合することにより、常温のまま施工でき早期に硬化するクラック注入材です。

1セット：350g

1箱20セット入り

特長

①可使時間が 10 分程度あり、かつ浸透性に優れるため、微細なひび割れの深部まで容易に浸透します。
②主剤はアスファルト乳剤系材料で、既設舗装体の破損部やひび割れ部とのなじみ性、接着性、付着性に優れています。
③硬化物は弾力・靭性に優れており、舗装体の伸縮に対して追従します。
④特殊器具を使用することなく、常温で簡単に施工できます。
⑤硬化時間は夏季で 50 分、冬季で 60 分程度なので、早期交通開放ができます。

用途

①アスファルト舗装やコンクリート舗装のひび割れ補修
②舗装ジョイント部の隙間
③コンクリート舗装の目地補修

基本物性

主剤の基本物性

試験項目				物理性状	社内規格
硬化前性状	固形分		質量%	68.1	65以上
	比重(25℃)		g/cm³	1.010	1.0以上
	粘度(25℃)		mPa・s	37	300以下
硬化後性状	円錐針入度(25℃)		mm	83	90以下
	軟化点		℃	130+	100以上
	弾性(球針)	初期貫入量(25℃)	mm	0.7	0.5～1.5
		復元率(25℃)	%	62	60以上

施工事例

クラック補修

コンクリート舗装の目地補修

使用方法

①

注入するクラック内部のホコリやゴミ、水を取り除いてください。

②

使用前に主剤容器（ポリエチレン容器）をよく振ってください。

③

主剤容器のフタを開け、硬化剤（茶色ビン）を入れます。

④

主剤容器のフタを閉め、直ぐに 10 秒程度上下に振ってよく混ぜます。

⑤

混合後、直ぐに主剤容器先端のキャップを開け、クラックに沿って注入します。
※10 分以内に注入してください。

⑥

指で押してベタつきがなくなったら、交通開放してください。
※ベタつく場合や早期に交通開放したい場合は、石粉や砂を撒いてください。

使用量の目安

深さと幅による使用量の目安（10mあたり）

深さ(mm) ＼ 幅(mm)	2	3	5	10
10	0.22kg（1本）	0.33kg（1本）	0.55kg（2本）	1.10kg（4本）
20	0.44kg（2本）	0.66kg（2本）	1.10kg（4本）	2.20kg（7本）
30	0.66kg（2本）	0.99kg（3本）	1.65kg（5本）	3.30kg（10本）

※注1　比重は1.0で算定しています。
※注2　ロスは10%を見込んで、1本350gで計算しています。

使用上の留意点

・硬化剤が皮膚についたときは、石鹸を使用して水でよく洗い流してください。
・硬化剤を飲み込んだときや、蒸気を吸い込んだときは中毒を起こす恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
・室内などで取り扱う際には、換気を行ってください。
・硬化剤は引火性がありますので、火気には十分注意してください。